

令和6年度

教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価  
報告書（令和5年度の事務対象）

令和6年8月

佐渡市教育委員会



## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

### 1 点検及び評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の規定により、教育委員会は毎年度、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

本報告書は、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たし、市民から信頼される教育行政を目指すため、令和5年度の佐渡市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、報告するものです。

#### 【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検及び評価の方法

#### （1）点検及び評価の対象

点検及び評価は、佐渡市教育委員会が執行している事務・事業のうち、令和2年9月に策定した「佐渡市教育大綱及び佐渡市教育振興基本計画」に掲げられている、「6つの基本目標を達成するための18の施策」の項目について行いました。

なお、その項目に属する事業について、事業の評価票を作成し、（目標（成果）指標、目標値、実績値、成果（評価）、課題と対策、今後の事務事業の改善案を記入）自己評価を実施しました。

(2) 点検及び評価の手順

次の手順で点検及び評価を行いました。

教育委員会事務局による点検・評価の実施

事務点検評価者による点検・評価の実施

教育委員会において点検・評価報告書の決定

市議会への報告及び公表

(3) 自己評価ランク

【A】 目標を上回る成果に達したもの(100%以上)

【B】 ほぼ目標どおり (80%以上～100%未満)

【C】 目標の成果に達しなかったもの(80%未満)

3 学識経験を有する者の知見の活用

点検・評価を実施するに当たり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第2項の規定による知見の活用を図るため、選任した学識経験者2人から教育委員会事務局が行った点検・評価(自己評価)について、外部評価を受けるという形で実施しました。

佐渡市教育委員会 事務点検評価者(令和6年度)

氏名	経歴等
児玉 功	元佐渡市社会教育委員 委員長
池 典比古	元佐渡市教育委員

## 目 次

1	教育委員会の活動状況について	1
	教育委員会会議の開催状況	1
	教育委員会会議以外の活動状況	5
2	教育委員会の事務の管理及び執行の状況	6
	総合教育センター事業（学校教育課）	6
	総合教育センター事業（学校教育課）	8
	自校給食・給食センター管理運営事業（学校教育課）	9
	特別支援教育推進事業（学校教育課）	11
	総合教育センター事業（学校教育課）	13
	総合学習支援事業（学校教育課）	14
	国際教育ALT事業（学校教育課）	16
	学校ICT活用サポート事業（学校教育課）	18
	地域ぐるみの学校安全体制整備促進事業（学校教育課）	19
	心の教育支援事業（学校教育課）	20
	総合教育センター事業（学校教育課）	22
	グローバル人材育成事業（学校教育課）	23
	生涯学習事業（社会教育課）	25
	公民館活動推進事業（社会教育課）	27
	スポーツ推進事業（社会教育課）	29
	読書推進事業（社会教育課）	31
	博物館・資料館管理運営事業（社会教育課）	33
	世界遺産登録推進事業（世界遺産推進課）	36
	ジオパーク推進事業（社会教育課）	38
	埋蔵文化財調査保存事業（世界遺産推進課）	40

⑳	有形文化財保存活用事業（世界遺産推進課）	4 1
㉑	芸術事業（社会教育課）	4 2
㉒	佐渡学推進事業（社会教育課）	4 4
㉓	青少年育成活動事業（社会教育課）	4 7
㉔	学校教育振興事業（学校教育課・社会教育課）	4 9
㉕	学校・家庭・地域の連携促進事業（社会教育課）	5 1
㉖	児童援助事業・生徒援助事業（教育総務課）	5 3

参考：評価	施策実施上注目すべき数値の一覧	5 4
-------	-----------------	-----

3	総評	5 6
---	----	-----

# 1 教育委員会の活動状況について

## ① 教育委員会会議の開催状況

定例会（12回） 臨時会（5回）

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
令和5年第6回 定例会 (R5.4.24)	議案第24号	佐渡市博物館条例施行規則の一部を改正する規則の専決処理について
	議案第25号	佐渡市歴史民俗資料館条例施行規則の一部を改正する規則の専決処理について
	議案第26号	佐渡市史跡佐渡奉行所条例施行規則の一部を改正する規則の専決処理について
	議案第27号	佐渡市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の専決処理について
	議案第28号	佐渡市教育委員会スクールバス等運行要領の一部を改正する告示の専決処理について
	議案第29号	佐渡市小木町伝統的建造物群保存地区保存活用計画の諮問について
	議案第30号	小木町伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第31号	佐渡市図書館協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第32号	学校医（耳鼻科）の委嘱に係る専決処理について
	議案第33号	学校医（学校薬剤師）の委嘱及び担当校の変更に係る専決処理について
	議案第34号	佐渡市いじめ防止対策等に関する委員会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第35号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第36号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第37号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第38号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第39号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第40号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第41号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第42号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第43号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第44号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第45号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第46号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第47号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第48号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第49号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第50号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第51号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第52号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第53号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第54号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
議案第55号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について	

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
	議案第 56 号 議案第 57 号 議案第 58 号 議案第 59 号 議案第 60 号 議案第 61 号 報告事項 1 報告事項 2	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市不登校児童生徒訪問指導員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 学校情報について 佐渡市立学校等遠距離通学児童生徒通学支援及び通学費補助金交付要綱の一部改正について
令和 5 年第 7 回 臨時会 （R5.5.8）	議案第 62 号 議案第 63 号 議案第 64 号 議案第 65 号 報告事項	教育長の職務代理者の指名について 教育委員の議席の指定について 学校医（歯科）の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡地区における義務教育諸学校教科用図書の採択等について
令和 5 年第 8 回 定例会 （R5.5.24）	議案第 66 号 議案第 67 号 議案第 68 号 議案第 69 号 議案第 70 号 議案第 71 号 議案第 72 号 議案第 73 号 報告事項 1 報告事項 2 報告事項 3 報告事項 4	佐渡市学校教育 Web21 グループウェアシステム管理運用規程の全部を改正する訓令の制定について 佐渡市立小・中学校コンピュータ管理運用規程の一部を改正する訓令の制定について 佐渡市部活動改革検討懇談会開催要綱を廃止する告示の制定について 佐渡市地域クラブ活動推進協議会設置要綱を制定する告示の制定について 佐渡市地域クラブ活動推進協議会委員の委嘱について 佐渡市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について 佐渡市公民館条例の一部を改正する条例の制定について 学校情報について 一般財団法人佐渡文化財団の経営状況報告について 令和 5 年度佐渡市一般会計補正予算（第 4 号）の概要について 放課後児童クラブの運営業務委託について
令和 5 年第 9 回 定例会 （R5.6.28）	議案第 74 号 議案第 75 号 議案第 76 号 議案第 77 号 議案第 78 号 報告事項 1 報告事項 2 報告事項 3	佐渡市外国語指導助手就業規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱について 学校情報について 休日の地域クラブ活動の進捗状況について 佐渡市立学校の児童及び生徒の文化及び体育活動費補助金交付要綱の一部改正について

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
令和5年第10回 定例会 (R5.7.26)	議案第79号  議案第80号 議案第81号 議案第82号 議案第83号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4 報告事項5	令和6年度・令和7年度・令和8年度・令和9年度佐渡地区小学校教科用図書及び令和6年度佐渡地区中学校教科用図書の採択について  佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱について 佐渡市学校合同再編統合協議会委員の委嘱について 佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について 学校情報について 損害賠償の額を定めることについて 損害賠償の額を定めることについて 佐渡市地域クラブ活動の進捗状況について さわた図書館・子育て交流ひろば改修工事基本設計について
令和5年第11回 定例会 (R5.8.23)	議案第84号 議案第85号 議案第85号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4  報告事項5 報告事項6	佐渡市部活動の在り方に係る方針の一部改正について 佐渡市教育委員会職員の分限処分について 佐渡市条例の一部改正について 学校情報について 令和5年度全国学力・学習状況調査の分析結果について 令和5年度佐渡市一般会計補正予算（第5号）の概要について 佐渡市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分について 佐渡市地域クラブ活動推進計画（案）について ジオパーク再認定審査に係る提出書類について
令和5年第12回 定例会 (R5.9.26)	議案第87号  議案第88号 議案第89号 議案第90号 議案第91号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4 報告事項5	佐渡市地域クラブ活動推進計画（佐渡プラン）の策定に係る専決処理について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について 学校医の担当校の変更に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の懲戒処分等に係る専決処理について 佐渡市文化財保護審議会への諮問について 伝統的建造物群保存地区について エコモス現地調査について 学校情報について 南佐渡エリアデマンド事業について 佐和田中学校大規模改修工事の契約状況について
令和5年第13回 定例会 (R5.10.25)	報告事項1	学校情報について
令和5年第14回 定例会 (R5.11.15)	議案第92号 議案第93号 議案第94号 報告事項1 報告事項2	佐渡市文化財の調査について 教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について 佐渡市教育委員会職員の懲戒処分等について 学校情報について 令和5年度佐渡市一般会計補正予算（第7号）の概要について
令和5年第15回 定例会 (R5.12.27)	議案第87号  議案第88号	佐渡市伝統的建造物群保存地区保存条例の規定に基づく伝統的建造物群保存地区を決定することについて 佐渡市伝統的建造物群保存地区保存条例の規定に基づく伝統的建造物群保存地区の保存及び活用に関する計画を定めることについて

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
	議案第 89 号 議案第 90 号 議案第 91 号 報告事項 1 報告事項 2  報告事項 3 報告事項 4	て 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱について 佐渡市教育委員会職員分限処分に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の人事異動について 学校情報について 旧若林医院 日本館・西洋館の国登録有形文化財に関する答申について 日本ジオパーク再認定審査結果について 赤泊学校給食センターについて
令和 6 年第 1 回 定例会 （R6.1.24）	議案第 1 号 議案第 2 号  報告事項 1 報告事項 2	佐渡市学校運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱に係る専決処理について 学校情報について 令和 6 年度教育行政方針について
令和 6 年第 2 回 臨時会 （R6.2.14）	議案第 3 号 協議事項	佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について 令和 6 年度教育行政方針について
令和 6 年第 3 回 定例会 （R6.2.19）	議案第 4 号  議案第 5 号 報告事項 1 報告事項 2 報告事項 3 報告事項 4 報告事項 5	佐渡市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 管理職教員の人事異動内申について 学校情報について 令和 5 年度佐渡市一般会計補正予算（第 11 号）について 令和 5 年度佐渡市一般会計補正予算（第 12 号）について 令和 6 年度佐渡市一般会計当初予算について 令和 4 年度図書館ビジョン事業計画の評価について
令和 6 年第 4 回 定例会 （R6.3.21）	議案第 6 号  議案第 7 号 議案第 8 号 議案第 9 号 報告事項 1 報告事項 2 報告事項 3	佐渡市立学校管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について 相川経博物館の臨時休館の延長について 佐渡市教育委員会職員の人事異動について 教職員の人事異動内申に係る専決処理について 学校情報について 学校再編統合協議会の状況について 佐渡市社会教育委員からの提案について

② 教育委員会会議以外の活動状況

総合教育会議

回（開催日）	会 場	議 題
令和5年度第1回 (R6.2.7)	佐渡市役所2階 大会議室	1 子どもの学力向上について 2 教育委員会事務局の組織について 報告 第2期P P A事業整備計画

会議及び研修会

開催日	会議名等
R5.5.9～5.10	令和5年度関東地区都市教育長協議会総会
R5.7.21	令和5年度新潟県市町村教育委員会連合会 定期総会及び研修会
R5.6.29 R5.9.7	令和5年度市町村教育委員会 研究協議会【前期】（オンライン）

その他事業等への参加

開催日	会議名等
R5.4.1	辞令交付式
R5.6.28	加茂小学校長寿命化改良工事 仮設校舎現地視察
R5.8.15	二十歳の集い（アミューズメント佐渡）
R5.11.10	道徳教育研究発表会（赤泊小学校）

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合教育センター事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策1 学ぶ意欲を高め確かな学力を育成する教育】					
事業概要	教育センター主催研修等、教員の研修講座を開催し、学力の向上を図る。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	教職員の指導力向上により、児童生徒に確かな学力をつける。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との差（小・中）		%	小国-0.6 小算-2.2 【C】 中国-1.0 中数-4.4 【C】	小全国 平均以上 中全国 平均以上	小国+1.8 小算-2.5 【B】 中国-3.8 中数-10.0 【C】	小全国 平均以上 中全国 平均以上
算式	平均正答率の全国との差 評価基準 { ・全国平均以上2教科：A ・全国平均以上1教科かつ 3P以上が1教科：B					
標準学力検査NRTで偏差値50以上の教科の割合（小・中）		%	小70.5 【C】 中40 【C】	小80 中50	小59.0 【C】 中33.8 【C】	小80 中50
算式	偏差値50を上回った教科数 / 実施教科数 評価基準 { (小) 80%以上:A、64%以上:B (R5より) (中) 50%以上:A、40%以上:B					
【R6追加目標】 全国学力・学習状況調査の教科の意義に関わる児童生徒質問紙調査（小・中） 「その教科の勉強は大切だと思うか」		%	/	/	小国95.7 小算96.6	小95
算式	国語・算数（数学）の学習の意義に関わる質問項目の肯定評価の数値 評価基準 { (小) 2教科 95以上:A、80%以上:B (中) 2教科 80以上:A、70%以上:B					
【R6追加目標】 全国学力・学習状況調査の授業内容の理解度に関わる児童生徒質問紙調査（小・中） 「授業の内容はよく分かるか」		%	/	/	小国90.3 小算86.0	小95
算式	国語・算数（数学）の授業内容の理解度に関わる質問項目の肯定評価の数値 評価基準 { (小) 2教科 95以上:A、80%以上:B (中) 2教科 80以上:A、70%以上:B					

D o		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			4年度	5年度（評価年度）		6年度
	指標	目標（成果）指標	単位	実績値	目標値	実績値	目標値
1	学校支援訪問における各校への指導			100	100	100	100
	指標	支援訪問で指導を行った学校数の割合	%				
2	校長会と連携した学力向上の取組			2	2	2	2
	指標	校長会との情報交換会の実施回数	回				
3	総合教育センター事業			12	12	12	12
	指標	研修実施回数	回				
				(484人)	(450人)	(426人)	(450人)

C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策	
1	学校支援訪問における各校への指導  【A】	<p>【成果】 市指導主事または教育指導主事が市内全ての小・中学校へ訪問し、学校評価及び授業改善について指導を行った。適宜、下越教育事務所指導主事と連携しながら支援訪問を行った。</p> <p>【課題と対策】 学校の抱える課題と併せて、「学力向上の取組の充実」と「いじめ・不登校を生まない学校づくり」を重点として、各学校への働き掛けを行う。また、本年度より派遣申請書不要の指導主事訪問（通称ふらっと訪問）を年間を通じて行い、授業支援を実施できるよう努める。</p>	
2	校長会と連携した学力向上の取組  【A】	<p>【成果】 小中校長会の学力向上の取組についての情報共有ができた。小中の取組の共有や協働取組、市教委との意見交換ができた。</p> <p>【課題と対策】 小中共通の取組評価項目を設定し、学力向上について同一歩調でより一層の推進ができるよう働きかける。</p>	
3	総合教育センター事業  【A】	<p>【成果】 島内外の実績のある研修講師を招き、12回の研修を実施した。事後のアンケートでは、すべての受講生から肯定的な評価を得ており、教職員の資質向上に寄与していると感じる。</p> <p>【課題と対策】 教員だけでなく、介助員や図書館事務等、学校運営を支える方々の研修も充実してきているが、学校のニーズや働き方改革等の新たな視点から精選も考えていく余地がある。</p>	

A c t i o n	今後の事務事業の改善案
	<p>昨年度に引き続き、佐渡総合教育センター主催の研修と市教委指導主事等の学校支援訪問、県教育委員会や県立教育センター等の「にいがた学びチャレンジ」の研修、その他の研修会とのバランスを考慮し、効果的・有機的につなぎながら、成果を上げていく。令和6年度も、学力向上に関わる研修と、それを下支えする生徒指導や学級経営、道徳教育等の研修を継続させる。教職員の負担増加にならないよう、図書館事務職員の研修は県の事業と共催で行う。また、各種研修会の動画をオンデマンドで配信するための整備を行っていく。</p> <p>引き続き授業支援ソフトやAIドリルも活用し、児童生徒の個別最適な学びを促進する。さらに、社会教育課と連携して大学生によるオンライン放課後学習支援を行い、中学生を中心とした学習意欲の向上を目指す。</p>

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名	総合教育センター事業				
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策2 豊かな心、倫理観、規範意識をはぐくむ道德教育】				
事業概要	教育センター主催研修講座等、教員の研修講座を開催する。				
対象	教職員、児童、生徒				
意図（目標）	道德教育、人権教育、同和教育の充実を通し、児童生徒の豊かな心、倫理観、規範意識を養う。				
事務事業の目標（成果）指標					
算式	指標の算式	単位	4年度 実績値	5年度（評価年度） 目標値	6年度 目標値
すべての学級で道德の授業を公開している割合（小・中）		%	94	100	100
算式	実施校数 / 市内小中学校数		【B】	【A】	100
人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合（小・中）		%	100	100	100
算式	実施校数 / 市内小中学校数		【A】	【A】	100

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	総合教育センター講座（道德教育研修講座）			94	100	100	100
	指標	道德教育研修講座の肯定的評価	%				
2	総合教育センター講座（人権教育、同和教育研修講座）			100	100	100	100
	指標	人権教育、同和教育研修講座の肯定的評価	%				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策					
1	総合教育センター講座（道德教育研修講座）	【成果】 赤泊小が受託した文部科学省「道德教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の研究会をもって道德研修とした。赤泊小のp4c(探究的な対話)を中核に据えた実践を通して「考え、議論する道德」について学びを深めることができた。					
	【A】	【課題と対策】 「考え、議論する道德」の質的転換を図れるように、具体的な授業実践の方法について学べる機会を作っていく。					
2	総合教育センター講座（人権教育、同和教育研修講座）	【成果】 「部落差別をなくす佐渡の会」の石崎氏を講師に、現地学習を通して、部落差別問題について理解を深めることができた。南佐渡中の土屋校長から「拉致問題に関する子どもサミット」についての伝達をしていただいた。					
	【A】	【課題と対策】 若手教員など、「同和教育に対して自信をもって指導できない」という声がある。今後も、実体験を通して学ぶ機会を作っていく。					

Action	今後の事務事業の改善案					
<p>道德授業について具体的な実践をもとに学ぶ機会を作り、各学校の授業改善を図っていく。道德や人権教育、同和教育の授業公開を通して、家庭や地域への啓発も推進していく。</p> <p>令和6年度も具体的な実践方法や理論について実体験を通して学べる研修機会を設定し、参加者の肯定的評価100%を目指していく。また、道德教育推進教師に限らず、多くの教員が研修に参加できるように研修形態の工夫改善を図っていく。</p>						

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	自校給食・給食センター管理運営事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策3 健康でたくましい心身をはぐくむ教育】					
事業概要	自校方式1校、学校給食センター7施設で、地産地消を推進し、安全・安心な学校給食を提供する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	地場産物の使用拡大を目指し、学校給食を生きた食材の教材とし、生産者等への感謝の気持ちを育み、郷土を愛する気持ちを養う。					
目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
学校給食における地産地消の献立の実施状況（小・中）		%	21 【A】	23	22.8 【B】	23
算式	実績値 = 佐渡産野菜使用率 + 水産物使用率の平均					
栄養教諭・学校栄養職員が参画した食に関する授業を実施している割合（小・中）		%	83 【B】	90	91.4 【A】	100
算式	実施校数 / 市内小中学校数					

Do	事務事業の目標（成果）指標						
枝番	事務事業を構成する主な細事業			4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	米以外の地場産食材使用事業			野菜 13.8	野菜 15	野菜 16.4	野菜 17
	指標	米以外の地場産食材年間使用量の割合（野菜、水産物）	%	水産物 27.8	水産物 30	水産物 29.2	水産物 30
2	小学校から中学校までの「9年間で一貫した食育指導」の実施			100	100	97.4	100
	指標	題材に沿った食育指導の実施率					

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	米以外の地場産食材使用事業 【B】	<p>【成果】</p> <p>野菜については、農業政策課・子ども若者・学校教育課と生産者・農産物加工業者・運送業者と懇談会を行い、保育園や学校給食で使いたい野菜や加工品についての情報交換を行うことができた。</p> <p>水産物については、農林水産振興課の水産補助事業により、佐渡産水産物の購入額の一部補助があり、積極的な地場産物の使用につながり、使用率をほぼ前年度同様にすることができた。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>第3次地産地消推進計画（令和2年3月）では、R6年度の佐渡産野菜・水産物の使用率の目標は30%としているが、R2年度の実績値は20%、R3年度の実績値は19%であったため、R4年度の目標値は、地産品の価格や流通量を考慮し当初の目標値を21%に引き下げた経緯がある。</p> <p>水産物については、昨年度に引き続き農林水産振興課による水産</p>				

		<p>補助事業の継続と、県学校給食会が佐渡でとれた魚の水揚げ・加工・納品までを担う「佐渡産水揚げの魚を学校給食へ」の事業を活用し、地場産使用率の増加を目指す。</p> <p>野菜については、調理場の規模に見合った数量と質の確保、配送方法の調整が必要であり、引き続き農業政策課と協議しながら進める。</p>
2	<p>小学校から中学校までの「9年間で一貫した食育指導」の実施</p> <p style="text-align: center;"><b>【B】</b></p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>年度末に行った食育指導に関する食育指導実施調査より、学校での実施率は、小学校は100%、中学校は97.4%（未実施1校）であった。また、調理場の栄養士等による指導については、給食中の指導を含めると、全小学校と半数以上の中学校で実施している。食育指導案を各学校へ配布しており、その活用によって学校教職員と給食センター栄養教諭等の連携が取りやすくなっている。</p> <p><b>【課題と対策】</b></p> <p>学校の教育計画における食に関する指導の全体計画については、指導主事から各学校へ見直すよう指導したこともあり、きちんと整備された。</p> <p>給食センター栄養教諭等は受配校数の多さや、給食運営にかかる業務量が多く、食育指導に費やす時間を作ることに苦慮しているのが現状。</p> <p>デジタル化を進めることで指導が一斉に行えることから、栄養教諭等のニーズを把握し通信環境を整えることも今後の課題である。</p>

Action	今後の事務事業の改善案
<p>上記の成果内容が、どれほど使用率上昇につながるか動向を注視していく。</p> <p>農業政策課との打合せの中では、地産地消推進会議を部会ごとに関係機関を招集し、地場産の使用及び食育に関する教育を進める方針である。引き続き生産者や農業政策課、農林水産振興課とも協議を進め、地産地消率向上に努める。</p> <p>また、食育の授業と合わせて、日頃から給食のマナーや正しい食べ方について観察し、必要に応じた指導ができるようにする。</p>	

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	特別支援教育推進事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策4 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育】					
事業概要	障がいに応じた適切な教育を行うため、学校における日常生活の介助や障がいに応じて学習活動のサポートを行う介助員を配置する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	児童生徒それぞれの教育的ニーズを把握し、適切かつ必要な支援体制の整備に努める。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
基準に基づく介助員の配置割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	配置人数 / 配置希望人数					
「個別の教育支援計画」を作成・活用している割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	作成・活用人数 / 作成必要人数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	介助員意識調査			2	2	2	2
	指標	介助員意識調査の実施回数	回				
2	個別の教育支援計画に係る指導			34	35	35	35
	指標	個別の教育支援計画に係る指導の実施校数	校				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	介助員意識調査 【A】	<p>【成果】 介助員本人の意識や仕事上の悩みなどについて、各校において聞き取りを行い、必要に応じて公務員としての服務・勤務に関する指導をお願いした。 市教委から、次年度の継続・異動等の希望調査を行い、可能な範囲で反映できるよう努めた。配置や仕事内容等に配慮し、働き甲斐のある職場環境の実現を図った。</p> <p>【課題と対策】 各校の管理職には、公務員としての行動や振る舞いのほか、介助員と職員、介助員同士の関係性にも配慮をお願いしながら、介助の資質向上を図っていく。</p>				
	個別の教育支援計画に係る指導 【A】	<p>【成果】 全ての小・中学校において個別の教育支援計画等の作成・活用を指導した。</p> <p>【課題と対策】 作成した個別の計画等を保護者面談などで有効活用しているかどうかの実際を聞き取っていく必要がある。</p>				

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>個別の計画書等の作成は今年度も目標値を達成できた。発達障がいを含む障がいのある全ての児童生徒の合理的配慮に留意して作成した。計画書等の活用状況については、今後も学校支援訪問時などの折に確認していく必要がある。また、個別の計画書等の作成・活用を基に保護者と連携し、ともに児童生徒の成長を支援するシステムを構築することを目指してきた。引き続き保護者との連携を更に深めていく。</p> <p>令和6年度も細事業として、介助員意識調査の実施回数を指標とし、目標値を2回とする。1回は各校での聞き取り、2回目は市教委からの継続・異動等希望の聞き取りとして継続し、介助員からの意見や要望を基に働きやすい環境整備に努める。</p> <p>また、「個別の教育支援計画に係る指導の実施校数」を指標とし、目標値を全学校35校とする。</p>

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合教育センター事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策5 人間性や社会性の基礎を身に付ける幼児教育】					
事業概要	幼保小の連携を図り、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図る。					
対象	教職員、幼児、児童					
意図（目標）	幼稚園、保育園、認定こども園の保育者、小学校教員の連携を図り、教育活動や目指す姿を共有することで、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を目指す。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
算式	指標の算式		目標値	実績値		
保育園・幼稚園との教育活動の交流を行っている割合（保幼・小）		%	86 【B】	100	95 【B】	100
算式	実施小学校数 / 市小学校数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	学校支援訪問・校長会における指導			22	22	22	22
	指標	指導した小学校数	校				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	学校支援訪問・校長会における各校への指導  【A】	<p>【成果】 22校中20校が交流を行っている（1校は就学予定児童がいないため未実施）。新型コロナ5類移行を受け、各校で連携が進むように支援訪問にて指導を行った。</p> <p>【課題と対策】 1小1園というところは少ないため、各園と小学校が交流活動実施に向けた計画段階から連携を図れるように指導していく。</p>				

Action	今後の事務事業の改善案				
<p>文部科学省が進めている「幼保小の架け橋プログラム」の実施に向けて、校長会や研修会を通して幼保小の連携の必要性について啓発するとともに、5歳児と小学校1年生の2年間を見据えた「架け橋期のカリキュラム」の作成に取り組んでいく。</p>					

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合学習支援事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策6 佐渡を知り、愛し、誇りとするキャリア教育】					
事業概要	将来、佐渡に貢献できる人材を育成するため、小中学校において、郷土を愛し、夢と誇りを持ち、職業観を育むキャリア教育を推進する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「佐渡学」を中核とした体験的な郷土学習への取組について指導、支援する。</li> <li>・中学校における職場体験活動を充実させるため、課題解決学習を取り入れた指導への支援と受入企業の拡充を進める。</li> </ul>					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
課題解決学習を取り入れた職場体験活動を実施している割合（中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	実施中学校 / 全中学校					
「みらい'sノート」「キャリア・パスポート」を活用したキャリア教育を実施している割合（小）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	実施小学校 / 全小学校					
全国学力・学習状況調査のキャリア教育に関わる 児童・生徒質問項目（小・中） R6追加						
算式	「将来の夢や目標をもっているか。」 項目の肯定評価の数値	%	/	/	小80.6	85
					中67.4	70
算式	「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思うか。」 項目の肯定評価の数値	%	/	/	小86.8	90
					中67.0	70

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	職場体験に向けての事業所との合同準備会の実施 （中学校）			100	100	100	100
	指標	実施中学校 / 全中学校	%				
2	支援訪問における指導			35	35	35	35
	指標	指導した学校数	校				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	職場体験に向けての 事業所との合同準備 会の実施  【A】	<b>【成果】</b> 事業所・学校合同準備会において、課題解決型職場体験の意義やミッションの設定についての理解を深め、全ての中学校で課題解決型職場体験を実施することができた。 <b>【課題と対策】</b>				

		<p>持続可能な取組にする上で協力事業所の確保が不可欠であり、継続して受け入れていただくためには、事業所の負担を軽減していく必要がある。合同準備会の内容を見直し、継続事業所については重複する研修内容を減らすことを検討する。</p>
2	<p>支援訪問における指導</p> <p>【A】</p>	<p>【成果】</p> <p>各小中学校に対して「みらい'sノート」を含めたキャリア・パスポートを教育計画に記載し、計画的に活用するように指導した。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>「みらい'sノート」についての内容を教育計画に記載していない小学校が6校、キャリア・パスポートについては小学校2校、中学校1校となっている。35校全ての小中学校で教育計画に記載し、活用が図られるように、今年度の支援訪問において指導する。</p>

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>「課題解決型職場体験」を佐渡市の職場体験として定着させ、キャリア教育の充実を図るため、同様のキャリア教育事業を実施している関係各課と連携していく。</p> <p>「みらい'sノート」「キャリア・パスポート(わたしをかんガエルノート)」の計画的な活用が図られるように、教育課程への位置付けを指導したり研修会を実施したりして、細事業として全35校の実施を目標値とする。また、幼稚園、保育園との連携を進め、6年度も年長児用シートの協力を依頼していく。</p>

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan		事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名		国際教育ALT事業				
教育大綱基本方針		佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標		2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策7 世界と共生する人材を育成する教育】				
事業概要		英語を母国語とするALT（外国語指導助手）を任用し、小中学校に派遣して、コミュニケーション能力の育成と異文化交流を行い、国際教育を推進する。				
対象		教職員、児童、生徒				
意図（目標）		小学校へ外国語教育が本格的に導入されることを踏まえ、小・中連携を意識した英語指導法研修を進めるとともに、コミュニケーション能力の育成や国際理解教育の充実に努める。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度	5年度（評価年度）		6年度
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値	目標値
指導者向けの小・中英語教育の円滑な接続のための研修や交流（小学校へ英語の出前授業や授業参観、情報交換会）を実施している割合		%	60 【C】	80	54 【C】	80
算式		実施中学校区数 / 市中学校区数				

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	国際教育ALT事業			100 (1)	100 (1)	100 (1)	100 (1)
	指標	外国語指導助手の小・中接続のための研修・交流への参加率（実施回数）					

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	国際教育ALT事業 【A】	<p>【成果】 ALT 8名体制で巡回指導を行った。また、ALTとのチームティーチングの授業力向上のための公開授業研修や中学校教員による小学校への出前授業や授業参観により、小・中英語教育の円滑な接続につながった。</p> <p>【課題と対策】 他市町村や市内のALT活用好事例を共有し、ALT活用について指導及び依頼を行う。 また、日本の生活環境に負担を感じさせないよう、ミーティング等を通じて困っていることはないか確認していく。</p>				

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>令和6年度よりALTを5名増員し13名体制とすることや、外国語・外国語活動・英語の授業での活用はもちろんのこと、体育・図画工作等の技能教科などでもALTを積極的に活用し、児童生徒がALTと関わり英語に触れる機会を増やしていく。そのために、打合せや研修会を通して指導及び依頼を行っていく。また、月1回行っているミーティングやメール等で困っていることを確認し、ALTが教育業務に専念できるよう生活支援を行う。</p> <p>小・中英語教育の円滑な接続に向けて、中学校区単位で情報交換等の連携を進めていく。</p> <p>また、ALTの活用成果を適切に評価できているか見定めるための指標について検討していく。</p>

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	学校ICT活用サポート事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策7 世界と共生する人材を育成する教育】					
事業概要	情報教育の推進とICT環境整備を計画的に進める。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	ICT機器の導入、活用により、情報化社会に的確に対応できる人材を育成するとともに、すべての児童生徒に分かりやすい授業を提供し学力向上を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度(評価年度)		6年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
ICTの効果的な活用に関する授業研修を行っている割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	実施校数 / 市内小中学校数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度(評価年度)		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	ICT支援員の配置			273 h	380 h	382 h	380 h
	指標	ICT支援員の活動時間	h				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	ICT支援員の配置 【A】	【成果】 昨年度に比べ、100時間以上活動時間増えたことからICT支援員（3名）の活用が各学校にも浸透してきたと言える。また、機器の操作法研修を多くの学校で実施し、学校での1人1台端末利用を推進した。				
		【課題と対策】 ICT支援員の活動内容として故障した1人1台端末の回収・設置対応が多くなっているため、第2期の1人1台端末は故障しにくい端末またはケースを取付することで、端末の使用方法や各種システムの操作方法について重点的に活動してもらい、教員の負担軽減やさらなるICT推進を図る。				

Action	今後の事務事業の改善案					
<p>令和5年度には市内全小学校に対し、AIドリル及び授業支援ソフトを導入。また、中学校に対しても令和6年度に小学校と同じソフトを導入し、活用が進むよう定期的に研修を実施する。</p> <p>令和6年度も機器のトラブル対応等、学校をサポートする体制構築に努めていく。また、一人一台端末がより日常的に活用されるよう教職員への研修や、情報提供に努めていく。</p>						

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備促進事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	3 安全・安心な学校づくり 【施策8 安全な学校環境づくり】					
事業概要	・佐渡市子ども安全応援隊員（スクールガード・リーダー）の依頼 ・佐渡市子ども安全応援隊員による通学路の見回り（8時間/月）					
対象	児童					
意図（目標）	児童が安心して登下校できる環境づくりを行う。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度(評価年度)		6年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
通学路点検の実施割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	実施校数 / 市内小中学校数					
防災教育の実施割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	実施校数 / 市内小中学校数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度(評価年度)		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業			12	15	12	15
	指標	リーダー数	人				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価						
枝番	細事業名	成果及び課題と対策					
1	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 【B】	【成果】 通学路巡回による危険箇所の把握と学校への報告、防犯に効果があった。 【課題と対策】 スクールガードリーダーの確保が難しく、未配置地区の解消が進まない。未配置解消に向け学校運営協議会等と連携し、地域住民への理解と協力を得て募集を行っていく。					

Action	今後の事務事業の改善案					
<p>他の防犯や交通安全に関する団体との連携強化、地域住民の理解による協力を高め、地域全体で見守り、安全を確保する体制の構築と意識の醸成を図る。</p> <p>また、学校運営協議会を通じて「ながら見守り活動」等の導入を検討し、見守りの目を増やしつつ、スクールガードリーダーの確保も行っていく。</p> <p>各学校への防災教育及び危機管理マニュアルの見直しについて指導を、年2回実施することを目標とする。</p>						

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課				
事務事業名	心の教育支援事業						
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進						
基本目標	3 安全・安心な学校づくり 【施策9 安心して学べる学校づくり】						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>心の教室相談員事業（中学校5校に6名の相談員を配置）</li> <li>不登校児童生徒訪問指導事業（不登校児童生徒の家庭を訪問）</li> <li>適応指導教室運営事業（あすなる教室の運営、いじめ不登校電話相談）</li> </ul>						
対象	教職員、児童、生徒						
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「佐渡市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、即時対応を図るための体制づくりを支援する。</li> <li>不登校児童生徒への的確な対応を進めるため、新潟県が示す「子どもとともに1・2・3運動」佐渡市共通の「心の健康チェック」の活用を徹底するとともに、適応指導教室や訪問相談員との連携を進める。</li> </ul>						
事務事業の目標（成果）指標							
算式	指標の算式	単位	4年度 実績値	5年度(評価年度) 目標値	5年度(評価年度) 実績値	6年度 目標値	
いじめの解消率（小・中）							
算式	いじめ解消数 / いじめ発生数 A:100% B:80% 以下の2要件を満たしたものを「解消」とする。（文科省が示した指針） いじめに係る行為が少なくとも3か月止んでいること 被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと		%	88 【B】 (R5.7月末)	100	86.3 【B】 (R6.7月末)	100
不登校児童生徒の割合（小・中）							
算式	不登校児童生徒数 / 児童生徒数 A:目標達成 B:全国平均以下 C:A・Bに至らない		%	小1.44 【C】 中4.87 【C】	小1.3 中5.0	小1.42 【B】 中6.14 【C】	小1.3 中5.0
安全・安心な学校づくり（小・中） R6追加							
算式	「学校に行くのは楽しいと思う」と感じる児童生徒の割合。全国学力・学習状況調査児童生徒質問から算出する。		%	/	/	小88.7 中82.5	小中 100

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度(評価年度)		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	「心の教室相談員」事業			941	300	387	300
	指標	相談員1名当たりの相談生徒延べ人数 A:300人 B:240人					
2	「不登校児童生徒訪問指導」事業 「適応指導教室」運営事業			57.4	60.0	41.7	60.0
	指標	欠席日数減少者数 / 前年度不登校者数 A:60% B:40%					
3	「心の健康チェック」推進支援事業			0.97	0.80	1.38	1.00
	指標	新規不登校者数 / 児童生徒数 目標値は前年度の実績値をもとに算出する。 R5 A:0.8%以下 B:1.5%以下 R6 A:1.0%以下 B:1.6%以下					

C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	「心の教室相談員」事業 【A】	<p>【成果】 いじめの早期発見、孤立しそうな子どもの心の居場所として大きな効果があった。本来の業務ではないが、指導に迷う教職員や保護者からの相談も多く（相談員1名当たり約90件）、学校組織としての指導力向上に大きく寄与した。</p> <p>【課題と対策】 日頃から、相談員と学校が情報共有を密にして、親身で丁寧な即時対応に結びつける。活用状況の正確な把握について、「利用者数」と「相談者数」の違いが明確になるよう、昨年度から報告要領を変更した。相談員の配置については、学校の実態を基に計画を立てた。</p>
2	「不登校児童生徒訪問指導」事業 「適応指導教室」運営事業 【B】	<p>【成果】 不登校訪問指導員の訪問や適応指導教室の利用者により学校への登校ができるようになった児童・生徒も見られた。その結果、不登校者の学校復帰や欠席日数の減少に効果が見られた。</p> <p>【課題と対策】 全国的に不登校の児童生徒数が大幅に増加している。佐渡市も同様に中学校の大幅な増加が見られた。一旦不登校になると、継続する傾向が強い。同時に、該当者へ不登校訪問指導員や適応指導教室の利用を働きかけても、本人や保護者の理解が得られず、活用されにくい状況がみられた。真野教室に加え、両津教室を開設したので、積極的な活用を促していく。</p>
3	「心の健康チェック」推進支援事業 【B】	<p>【成果】 「心の健康チェック」アンケートを毎月タブレットで実施することができた。結果を確認し、日頃から教育相談等に活用している学校がみられた。友人や教員との関係等きめ細やかな対応が可能となり、児童生徒の内面や人間関係の把握に活用され、トラブルの予防や改善に、ある程度の効果が見られた。</p> <p>【課題と対策】 アンケートの実施は、ほぼ対象の学校で実施できているが、全国的な傾向と同様に不登校の増加を防ぐことに繋がっていない。不登校になる前に要因となっているものを把握し、少しでも児童生徒の支援に繋がられるように「心の健康チェック」の適切な活用を図り、発生率の減少に努める。</p>

A c t i o n	今後の事務事業の改善案
	<p>令和4年4月に改定された「佐渡市いじめ防止基本方針」に基づきいじめ対応を確実に学校で実践できるよう指導する。特に、考え、議論する道徳や特別活動を推進したり、「市いじめ対応フロー図」(令和6年度版)に基づき、被害児童等に寄り添う親身な対応で解消に取り組んだりする。いじめの解消・不登校の発生防止のために積極的な「心の教室相談員」、「不登校訪問指導員」、「適応指導教室」の活用を推進する。</p> <p>適応指導教室については、両津教室の設置について取り組む。</p> <p>児童生徒の心の変化を継続的に調査する「心の健康チェック」の一層の活用を図る。アンケートの実施をタブレットで行い、データ処理を迅速化し、その累積されたデータと各学校での適切な相談業務を連携させて有効な指導に生かせるよう支援していく。</p> <p>そのため、「心の健康観察アプリ」等を導入した、児童生徒の心の変化を迅速にキャッチできる仕組みを検討していく。</p>

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合教育センター事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	4 高等教育・研究機関等との連携の強化 【施策10 大学や研究機関を活用した教育】					
事業概要	教員の研修講座を開催する。（基本研修、課題別研修、自主研修他）					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学や研究機関と連携し、その関連施設や職員を活用した教育活動例について小中学校等に提案する。</li> <li>・ICT等のシステムを活用し、遠隔地の大学や研究機関と教職員研修を中心とした交流を進める。</li> </ul>					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合（小・中）		%	83 【B】	90	82.9 【B】	90
算式	実施小中学校数 / 市小中学校数					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	学習意欲向上プロジェクト			8	13	12	13
	指標	中学校区各校への働きかけ	校				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	学習意欲向上プロジェクト 【B】	<p>【成果】 「学習意欲向上プロジェクト」は、内容が分かりづらいことから「研修支援事業」と改め実施している。「先進地視察」は県内・県外と2地区で実施、「講師招聘」は10地区で実施した。その内4地区がオンラインでの研修を実施し、予算の範囲で複数回行うなど、意欲的に活用している姿が見られた。</p> <p>【課題と対策】 R6年は、幹事校の報告を指示し、適切な声掛けで全中学校区での実施を実現させる。</p>				

Action	今後の事務事業の改善案				
引き続き、令和6年度も本事業を「研修支援事業」として継続する。予算内で講師招聘と島外視察の併用を認め、中学校区のニーズに合った研修を行う。各中学校区の幹事校と担当者を明確にし、市教委と学校が密にコミュニケーションをとりながら計画的に運用していく。					

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	グローバル人材育成事業（市立学校等人材育成事業）					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	4 高等教育・研究機関等との連携の強化 【施策11 大学・大学生等との交流】					
事業概要	市立小・中学校、高等学校等が市内の人材や地域性を活かした教育活動によりキャリア発達を促進し、将来を担い、地域社会の発展に貢献する児童・生徒の育成を目的とした事業の経費を支援する。					
対象	児童、生徒					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学関係者や大学生等と市内小中学校、高等学校が交流する教育活動を奨励する。</li> <li>市内高等学校と連携し、児童生徒の視察研修を支援する。</li> </ul>					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度	5年度（評価年度）		6年度
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値	
大学・大学生等との交流を行った割合（小・中）		%	46 【A】	50	37.1 【C】	50
算式	大学・大学生等と交流した学校数 / 全小・中学校数 評価基準 50%以上:A、40%以上:B（R5より）					
海外研修支援の件数		件	-	1	-	1
算式	海外研修支援の件数		(中止)		(中止)	

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度	5年度（評価年度）		6年度
	指標	目標（成果）指標	単位		実績値	目標値	
1	校長会における大学との連携にかかわる情報提供			1	2	2	2
	指標	校長会における情報提供の回数	回				
2	佐渡地区高校生海外訪問			-	5	-	5
	指標	参加生徒数	人				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	校長会における大学との連携にかかわる情報提供 【A】	【成果】 校長会において大学と連携した教育活動の実施を推奨した。 【課題と対策】 各校において実施している大学等と連携した教育活動の情報を収集し、その効果を共有する。				
2	佐渡地区高校生海外訪問 【-】	【成果】 佐渡地区高校生アメリカ海外研修を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、実施を見送った。 【課題と対策】 コロナ禍が明け、グローバル人材育成に寄与するための活動を一層推進するために、海外への訪問事業を再開していく。				

A c t i o n	今後の事務事業の改善案
<p>視察研修の実施においては、今後、募集対象を小・中学生にも広げ、将来の地域社会を担う児童・生徒の育成を図る。視察研修が困難な場合は、オンライン等による文化交流などを推し進めていく。</p> <p>また、大学と連携した、学生ボランティアによる放課後学習支援事業を実施し、主に中学生の学習意欲向上を図る。</p>	

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	生涯学習事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策12 公民館の利用促進】					
事業概要	市民が趣味や教養を高める等、自己を充実することをはじめ、生活上の課題や地域課題を解決することができ、又、活動の継続が図れるよう各種学習の機会を提供する。					
対象	市民					
意図（目標）	人と人との学び合いやふれあいを深め、それぞれの個性や能力を伸ばしながら一人一人の人生を充実させるとともに、地域の文化を高め、活力あるまちづくりと地域社会の形成や発展を目指す。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度	5年度（評価年度）		6年度
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値	目標値
生涯学習事業参加者		人	12,160	13,000	15,131	15,000
算式	生涯学習事業参加者数		【B】			

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	市民大学講座			691	700	633	700
	指標	市民大学講座受講者数	人				
2	高齢者学級			1,213	1,250	1,386	1,400
	指標	高齢者学級参加者数	人				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	市民大学講座 【B】	<p>【成果】 目標値をほぼ達成することができた。</p> <p>【課題と対策】 講座開設会場から遠方地区に在住している方の参加が少ない傾向にある。 令和5年度に本会場以外にサテライト会場を相川と羽茂会場に設け、遠方地区に在住している方からも参加してもらう環境を整えた。相川/延べ11人 羽茂/延べ43人 また、講座内容について関係団体と協力しながら、文化芸術の振興や伝統芸能等、市民の方に知っていただきたい情報を提供する。</p>				
	2	高齢者学級 【A】	<p>【成果】 参加者数が前年度に比べ大幅に増え、目標値を達成することができた。 高齢者を対象に意欲的に学習の場に参加してもらい、仲間づくりや健康づくりに取り組みながら、生きがいを見つけてもらう場を提供した。</p> <p>【課題と対策】 例年同じ方が参加することが多くなり、参加者の固定化や新規参加者の減少が課題である。 多くの高齢者が楽しみながら教室に参加し、生きがいを見つけてもらえるよう、新規参加できる環境を増やしたい。</p>			

Action	今後の事務事業の改善案
<p>生涯学習の理念に基づき、家庭教育、青少年教育、高齢者学級等様々な世代を対象にした講座の開催に取り組んでいく。</p> <p>また、各種事業内容についてはアンケート調査を実施し、参加者の要望を講座等に取り入れ、ニーズに沿った講座を開催するほか、佐渡市として取り組むべき文化や芸術を振興する講座を開講し、佐渡市の今日的課題解決に寄与する。</p>	

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	公民館活動推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策12 公民館の利用促進】					
事業概要	公民館講座を開催し、市民の学習意欲を高めるとともに、成果の発表の場として、各地区で芸能祭や文化祭を市民協働により開催する。					
対象	市民					
意図（目標）	交流・学習の機会を作り、市民の学習意欲を高めるとともに、地域や参加者の協働精神を醸成する。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
公民館利用者数	算式	万人	14.1	18.0	15.3	18.0
公民館利用者数			【C】	【B】		

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	事務事業を構成する主な細事業			4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	登録自主講座			266	270	257	270
	指標	登録自主講座数	件				
2	公民館講座			28	27	29	27
	指標	公民館講座数	件				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	登録自主講座	【成果】 目標値はほぼ達成できたが、前年度に比べると講座数が減った。しかし、趣味や生きがいづくりに寄与することにより、心と身体の健康づくりへとつなげることができた。 【課題と対策】 指導者不足や高齢化の影響はあるが、今後はますます人口が減少することになり、このままでは、これまでと同じような数の自主講座が開設されるのは難しいことから、公民館講座等で数年かけて後継者育成等を行い自主講座で活動できるよう進めて行く。				
	【B】					
2	公民館講座	【成果】 目標値を達成することができた。趣味や生きがいづくりに寄与することにより、心と身体の健康づくりへとつなげることができた。 【課題と対策】 学習機会の創出は行っているが、受講生の固定化、開設講座の固定化がみえる。市民からもっと興味を持ってもらえるよう、必要課題、要求課題に基づいて講座を開設する必要がある。又、公民館講座として3年経過した講座は、自主講座で活動できるようすすめて行く必要がある。				
	【A】					

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>市民の交流・学習機会を提供し、地域や参加者の協働精神を醸成するために、毎年開講している講座だけでなく、佐渡市として進める必要のある伝統文化や芸術振興に関する講座や時代のニーズに対応した新たな講座を開催し、新規参加者の獲得、後継者の育成を進める。</p> <p>また、公民館講座として定着したものについては自主講座への移行を薦め、市民が自立して生涯学習を実践できる仕組みづくりを進める。</p> <p>そして、受講生の成果発表の場とし芸能祭・文化祭を開催し、参加者の生きがいづくりや心と身体の健康づくりを推進する。</p>

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	スポーツ推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策13 スポーツの推進】					
事業概要	スポーツ推進審議会運営事業、スポーツ指導者講習会開催事業、スポーツ大会・教室等運営事業、スポーツ少年団支援事業等、市民のスポーツ推進のための企画、運営、指導、助言を行うとともに、スポーツ競技団体の育成、関係団体の組織体制強化を進める。					
対象	市民					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者までのさまざまなニーズに対応できるスポーツ環境の充実を図る。</li> <li>・スポーツを通じて世代間の交流を深め、市民相互の理解と連携・協力体制を築く。</li> <li>・スポーツに関する情報をいつでも手軽に入手・発信できるような情報提供の仕組みの充実を図る。</li> </ul>					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度	5年度（評価年度）		6年度
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値	
体育施設利用者数		万人	39.4	51.1	40.5	51.1
算式	体育施設利用者数		【C】			

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	スポーツ教室等開催事業			2,282 (165回)	3,000 (180回)	2,429 (178回)	3,000 (180回)
	指標	参加者数（開催数）	人 (回)				
2	地域クラブ活動実施事業			/	/	228 (7回)	270 (21回)
	指標	参加者数（開催数） 参加者はスキップ型参加生徒数及びエン ジョイ型の参加延べ人数の合計	人 (回)				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策	
1	スポーツ教室等開催事業 【B】	<p>【成果】 親子スポーツ教室、ウォーキングや筋トレ・ヨガ・ストレッチ等のエクササイズ教室など、日頃スポーツをしていない人も気軽に参加できる教室を全10地区で計178回実施し、前年に比べて参加者は増加した。</p> <p>【課題と対策】 参加者が少なかった教室もあったので、内容について検証し、より楽しんでいただけるメニューを提供することで、多くの方から参加していただけるよう取り組んで行く。</p>	

2	<p>地域クラブ活動実施事業</p> <p style="text-align: center;">【 - 】</p>	<p>【成果】</p> <p>休日の中学校部活動の地域移行を目的に、月1回の週末に技術力向上を目指す「スキップ型」、複数の競技種目や文化活動から生徒が自由に選択して参加できる「エンジョイ型」の2タイプの活動を展開した。エンジョイ型では、既存の部活動にはなく、生徒から要望の声が多かったダンスや、島の地理的条件を活かしたマリンスポーツ等の様々な活動を用意し、これまでスポーツをしてこなかった生徒がスポーツに親しむきっかけづくりにもなった。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>活動初年度であり、周知が不十分だったことから、地域クラブ活動を把握できていない方が結構いた。より広く情報発信することで多くの方から参加していただけるよう取り組んで行く。</p>
---	---	---

Action	今後の事務事業の改善案
<p>成人のスポーツ実施率や子どもの体力の低下、高齢者の健康対策が指摘される中、年代に応じたスポーツ活動を行うきっかけをつくり、一層のスポーツ推進を図る必要があることから、佐渡市スポーツ推進委員協議会、(一財)佐渡市スポーツ協会、地区スポーツ協会と連携し、佐渡市スポーツ推進計画に基づき事業を展開する。また、指導者講習会の実施や、指導者の資格取得を支援することで、それぞれの世代が必要とする運動を指導する専門人材を育成し、提供メニューの充実を図るとともに、市内で開催されるスポーツ行事や指導者等の情報を広く提供することで、市民がスポーツに親しむ機会を提供する。</p>	

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	読書推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 14 佐渡の人づくりを支える、地域の学びの拠点としての図書館運営】					
事業概要	図書館サービスの一環として、各種催しを行う。 ・ブックスタート事業・育児支援活動 ・子ども読書レベルアップ研修ほか各種事業実施 ・保育園、小学校、中学校、高校との連携（団体貸出他） ・図書館間相互貸借事業（県立図書館、新潟大学附属図書館、各公共図書館） ・幼児期から高齢者までを対象とした読書推進活動の実施					
対象	市民					
意図（目標）	・幼児期から高齢者まで本に親しんでもらうために、おはなし会や読書週間に多彩な事業を展開する。また、図書館から遠い地域に移動図書館車を運行し、読書の推進を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度	5年度（評価年度）		6年度
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値	
図書館・図書室の来館者数		万人	12.7	15.0	13.6	15.0
算式	図書館・図書室への延来館者数		【B】			

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度	5年度（評価年度）		6年度
	指標	目標（成果）指標	単位		実績値	目標値	
1	読書推進事業			365,428	360,000	371,822	360,000
	指標	蔵書冊数	冊				
2	図書館間相互貸借事業			1,589	1,900	1,176	1,900
	指標	市外図書館等からの借受冊数	冊				

C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	読書推進事業 【A】	<p>【成果】</p> <p>令和5年度、佐渡市の図書館・図書室全体で新たに登録をした図書は、9,606冊（内購入は6,460冊）である。図書のみならず、雑誌・A V等の貸出等を行うことで、読書活動や個人の学習活動の支援に寄与している。</p> <p>個人貸出、団体貸出ともに、令和4年度と令和5年度を比較するとほぼ横ばいとなっている。</p> <p>図書館行事は、令和5年度142回、参加人数1,785人、令和4年度87回、参加人数1,857人となっている。行事回数に対し、参加人数が微減となっている。</p> <p>図書館見学・職場体験は令和5年度30件、327人、令和4年度20件、262人と、前年度比較で10件の増加、65人増となっている。</p> <p>図書館来館者数は、令和5年度136,216人令和4年度127,060人で、前年度比較として、107%、9,156人増加となっている。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>令和5年5月よりコロナが5類に移行し、図書館来館者が増加してきていることから、各館室の特色を出す中で図書館の利用向上を図っていく。</p>
2	図書館間相互貸借事業 【C】	<p>【成果】</p> <p>窓口での案内等により利用者にサービス内容が浸透してきている。</p> <p>令和5年度については、「新潟県内小規模図書館等支援事業」を活用し、両津図書館で100冊を借り受け、利用者に提供した。実績値の1,176冊に、この100冊が含まれている。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>引き続き、利用者のニーズを把握し、求める資料を提供できるよう情報収集や職員のスキルアップに努めたい。</p>

A c t i o n	今後の事務事業の改善案
	<p>図書館の求められる役割は、子ども達の学習環境整備、高齢者支援、障がい者支援、レファレンス機能、電子書籍等多様化している。現在、図書館ビジョン後期実施計画の作成及び、図書館の収集方針、選書基準等の作成を行っており、各図書館・室の特色を出す中で、より市民の方から利用できる図書館運営を推進していく。</p>

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	博物館・資料館管理運営事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	佐渡の歴史・文化・自然の調査研究と普及啓発活動を円滑に進める。					
対象	市民、国内外の観光客等					
意図（目標）	来館者に佐渡の歴史・文化・自然に対する理解を深めてもらう。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度	5年度（評価年度）		6年度
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値	
博物館・資料館及び類似する文化施設に入館した人数		人	41,927	61,900	44,464	51,850
算式	入館した人数		【C】	【C】	【C】	

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度	5年度（評価年度）		6年度
	指標	目標（成果）指標	単位		実績値	目標値	
1	佐渡博物館特別展事業			5,864	6,600	5,917	6,200
	指標	特別展開催期間中入館者数	人				
2	イベント・体験事業・出前授業			1,162	1,800	974	1,500
	指標	参加者数	人				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	佐渡博物館特別展事業 【B】	<p>【成果】 令和5年度の入館者増加の取り組みとして、概ね計画に沿って実施できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡博企画展「佐渡の美術・工芸 小品の世界」527名 令和5年11月1日～12月28日</li> <li>・佐渡博特別展「牧野富太郎検閲標本」943名 令和5年9月10日～9月30日</li> <li>・両博企画展「記録写真 あの日あの時の佐渡1（昭和後期）」465名 令和5年4月15日～5月28日</li> <li>・両博企画展「手わざ図鑑 佐渡の手仕事」432名 令和5年10月7日～11月2日</li> <li>・植物園パネル展「佐渡の植物と牧野富太郎」550名 令和5年7月1日～9月10日</li> <li>・植物園企画展「山野草展」248名 令和5年5月13日～14日</li> <li>・植物園企画展「ウチョウラン展」161名 令和5年7月1日～2日</li> <li>・植物園企画展「雪割草展」185名 令和6年3月23日～24日</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新穂資企画展「渡辺治写真展」520名 令和5年3月4日～4月16日 作品説明 令和5年3月4日、28日</li> <li>・新穂資企画展「新穂資料館『トキ関連収蔵品』展」306名 令和5年4月29日～6月18日 展示説明会 令和5年6月4日</li> <li>・新穂資企画展「中世佐渡国モノ語りー考古資料にみる中世のくらしー展」693名 令和5年7月8日～9月3日</li> <li>・新穂資企画展「裂織展」547名 令和5年9月12日～10月9日</li> <li>・新穂資企画展「土屋忠司遺作展」340名 令和5年10月14日～11月26日</li> </ul> <p><b>【課題と対策】</b>  当初の予定では大枠での計画としていることから、開催間際まで何をするのか共有できない状況にある。  また、詳細の部分が情報共有できておらず、担当に大きな負担がかかり開催に至ってしまう。  今後、詳細計画を年度当初に作るとともに、それに向けて内部で情報共有し事業を協力して進めていけるようにする。</p>
--	---

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	イベント・体験事業  <b>【C】</b>	<p><b>【成果】</b>  博物館ごとに講座やイベントを開催し、多くのかたから参加してもらうことができ、参加者アンケートでもおおむね満足を得られる内容とのご意見をいただいた。</p> <p>&lt; 講座 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニア学芸員養成講座 各回 12名  6/24 はくぶつかんのおしごと  7/15 加茂湖たんけん  7/29 むかしのくらし・むかしのあそび  9/9 さど金銀山のひみつを絵巻からさぐる  9/23 木のみやくさであそぼう  10/7 まとめ、さどクイズをつくろう</li> <li>・資料の取扱い・保存教室 佐渡博物館 延べ 18名  7/24 資料の取扱い方  8/7 保存するために  8/21 モノに命をふきこむ</li> <li>・文化をつむぐミュージアム 暮らしのなかの SDGs しまリッチ 伝統を未来へ 両津郷土博物館 延べ 101人  10/27 どんぐりの森は加茂湖の恋人  11/10 東日本大震災を紀聞こえる海の恵み  11/20 神様からの贈り物 イカ釣りの技は海峡を越えて  12/1 島で生きるということ  12/9 自然との共生 歴史・民俗から考える これからのムラ(むら・村)づくり</li> <li>・地域を探る 両津郷土博物館 延べ 25人  令和5年8月25日、9月8日、22日、10月13日、17日</li> </ul> <p>&lt; イベント &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜の映画を見る会 両津博物館 延べ 165名</li> </ul>

		<p>10/28 『外海府 - 佐渡風土記 - 』 『朱鷺』  11/4 『佐渡今昔譚』 『タライ舟とノリ』 宮本常一監修  11/18 『新潟地震』  12/2 『昭和初期の佐渡』 本間治郎 撮影・解説  12/16 『佐渡の菅笠』 『佐渡の車田植』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐渡植物園ボタニカル・フェスティバル  令和5年9月10日 103名</li> <li>・ 佐渡植物園ボランティア&amp;ワークショップ  令和5年11月22日 17名</li> <li>・ 佐渡学センター地域連携プロジェクト「泉地区の史跡を巡ろう」  令和5年11月19日 24名</li> <li>・ 鈍翁茶会 245名 佐渡奉行所跡  令和5年9月30日～10月1日</li> </ul> <p>&lt; 出前授業 &gt;  ・ 7件 183名</p> <p>&lt; 講師派遣 &gt;  ・ 小木公民館</p> <p>&lt; 職場体験 &gt;  ・ 3件 11名</p> <p>&lt; 博物館実習 &gt;  ・ 新大人文学部 実習生 10名  令和5年9月25日～28日</p> <p>【課題と対策】  アンケート等の参加者のご意見を参考にしながら、効果のある事業なのか検討していく必要がある。</p>
--	--	--

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>世界遺産登録を目前に控え佐渡が注目される中、佐渡全体を見通した中で島内の博物館特色を活かした事業展開をする必要がある。</p> <p>また、小中学校への出前授業に関しては学校授業とリンクした内容の周知を行ない、子どものうちから博物館に興味をもってもらうよう進めていく。</p> <p>お客様を待つだけでなく、博物館の外を展示場所に活用するなど、地域と連携した新たな取り組みや、佐渡植物園の魅力を発信し佐渡の植物への関心を深め、利用を高めていきたい。</p>

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	世界遺産推進課			
事務事業名	世界遺産登録推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	・佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を活用した普及啓発事業 ・市民参加型の各種普及啓発事業（講演会、出前授業・出前講座など）					
対象	市民					
意図（目標）	市民の郷土への誇りや文化財保護意識の強化につなげるとともに、世界遺産登録に向けた市民意識の醸成を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度(評価年度)		6年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業への参加者数		人	331 【A】	320	640 【A】	400
算式	参加者数					
世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等の件数		件	53 【A】	45	54 【A】	45
算式	件数					

Do		事務事業を構成する主な細事業				
枝番	細事業名		4年度 実績値	5年度(評価年度)		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標		単位	目標値	
1	佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業		331	320	640	400
	指標	参加者数				
2	世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等		53	45	54	45
	指標	件数				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価			
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業  【A】	<p>【成果】 佐渡金銀山の普及啓発事業を計画的に実施し、市民の佐渡金銀山への興味や関心を高めると共に歴史的価値に対する理解を深めることができた。 特に、子供向けのイベント（佐渡金銀山の段ボール巨大迷路、巨大すごろく）には、親子世代から多数参加いただき、新たな支援層の獲得につながった。</p> <p>【課題と対策】 「きらりうむ佐渡」の世界遺産関連施設としての認知度向上を図り、展示室の観覧者数の増加につなげるため、市民が気軽に参加できる普及啓発事業を企画するとともに、展示室の初心者向け解説会等、市民への学習の機会を幅広く提供する。</p>			

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	世界遺産を目指す 佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等  <b>【A】</b>	<b>【成果】</b> 市民の佐渡金銀山への興味や関心を高めると共に歴史的価値に対する理解を深めることができた。令和4年2月の「佐渡島(さど)の金山」のユネスコへの推薦を契機に、市内企業・団体・集落の出張説明の利用実績が前年に引き続き伸びていることは成果といえる。 <b>【課題と対策】</b> 「佐渡島(さど)の金山」の世界遺産登録を見据え、市民の佐渡金銀山を保存・活用していくための意識を醸成するため、佐渡金銀山の清掃ボランティア活動や現地学習会の開催等、歴史に直接触れ、参加者の知的好奇心を高める教育事業を引き続き開催する。なお、講座等の開催にあたっては小学生から高齢者まで各世代に対応したテーマを設定し、講義を行う。 また、佐渡金銀山の世界遺産としての文化的価値を発信するため、インターネットを活用した情報発信も積極的に進める。

Action	今後の事務事業の改善案
	「佐渡島(さど)の金山」世界遺産登録を契機に、佐渡金銀山を未来に継承する保全活動に取り組む担い手を育成するため、若年層への教育活動や幅広い世代・地域への情報発信を行う。 また、引き続き、初心者向けの講座、現地学習会などの普及啓発事業の実施により、佐渡金銀山の価値の発信や市民の保存・活用の意識の醸成を図る。

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	ジオパーク推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民等啓発普及運営事業</li> <li>・市民講座・親子体験</li> <li>・地域説明会・サイト保全</li> <li>・推進協議会運営事業（構想、方向性、実施計画等の策定）</li> <li>・講演会・シンポジウム・出前授業等</li> <li>・ジオパークガイド養成事業</li> <li>・調査研究事業</li> </ul>					
対象	市民、教育旅行等の学生、国内外の観光客等					
意図（目標）	島に残る貴重な地質遺産などを市民講座や学校・PTA行事等で周知し、住民同士や観光客との交流を通して理解してもらい、ジオパーク学習の推進や郷土愛の醸成を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
ジオパーク推進事業に携わった人数		人	6,121 【A】	5,000	6,197 【A】	6,000
算式	人数					

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	市民等啓発普及運営事業			1,344	2,000	1,230	2,000
	指標	市民講座や地域説明会に参加した人数	人				
2	講演会・シンポジウム・出前授業等			2,799	3,000	2,984	3,000
	指標	講演会やシンポジウムに参加した人数	人				
3	ジオパークガイド養成事業			290	200	104	200
	指標	ガイドの養成・研修会に参加した人数	人				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	市民等啓発普及運営事業 【C】	<p>【成果】</p> <p>市民に対して佐渡の成り立ちや地域の魅力を学ぶ市民講座や地域説明会に取り組んだことで、参加した子供から大人まで郷土愛への意識を育むことができた。</p> <p>また、CNSテレビを活用して佐渡ジオパークの魅力を周知する番組「ぶらーりジオパークだっちゃ」を放送し、自宅でもジオパークを学べる情報発信に取り組み、普及啓発の推進を図ることができた。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>引き続き、各分館等を活用し、積極的に佐渡ジオパークや佐渡の成り立ちを紹介する地域説明会を開催し、市民が地域の価値に気付き、誇りと保護保全の意識を持てるよう取り組みを進めて行く。</p>				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	講演会・シンポジウム・出前授業等 【B】	<p>【成果】</p> <p>佐渡ジオパーク日本認定10周年記念事業を開催し、記念式典やエクスカッション等を通じて、参加者に佐渡ジオパークの魅力を再発信することができた。</p> <p>また、小・中・高等学校及び専門学校に出向いて佐渡ジオパークを学ぶ出前授業については、教育委員会と連携を図り進めることで学校の総合的な学習の時間に取り入れられており、郷土学習である佐渡学の推進につながった。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>イベントについては、会場に集まる方法とオンラインの両方で開催するなど、ジオパークに関する講演会や学習の機会を増やし、ジオパークへの興味・関心を高める。</p>
3	ジオパークガイド養成事業 【C】	<p>【成果】</p> <p>来訪者に佐渡ジオパークの魅力を伝えるジオパークガイドの養成を推進した。</p> <p>新規ガイドを獲得するためのガイド養成講座をはじめ、全国各地のガイドとの交流会や研修会を実施する事によりスキルアップを図ることができた。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>来訪者に対して地質・地形だけの説明に限らず、佐渡を楽しみながら巡るガイド案内の育成を進める。</p>

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>令和5年度の再審査により、課題8項目の条件付き再認定となった。</p> <p>この審査結果を受け、佐渡ジオパーク推進協議会を推進母体として、「第3次佐渡ジオパーク基本計画」に基づき、「楽しむ」「学ぶ」「守る」を柱に、令和7年度の再認定審査までに改善に向けた取組みを進める。</p> <p>佐渡の文化・歴史・自然と人々の暮らしと、ジオパーク・世界農業遺産・佐渡金銀山の3資産との関連をいかしたツアーを実施し、佐渡が誇る3資産の魅力を伝える。また、それを元に、教育旅行用のコンテンツの洗い出しを行い、商品化することで交流人口の拡大を図る。</p> <p>令和2～3年度に作成した「オリジナル映像」や、佐渡ジオパークのストーリーをまとめた入門書『よくわかる佐渡ジオパーク』及び小学生高学年用副読本を活用し、島に残る貴重な地質資源や佐渡の成り立ちについて伝え、教育や観光事業を推進する。また、幼児・小学校低学年向けや中学年向けなど、世代に合わせた副読本を作成するなど、子どもの頃から慣れ親しんでもらい、ジオパーク学習の推進や郷土愛の醸成を図る。</p> <p>県内ジオパーク間での子どもの交流事業や、ジオパークフォーラムなどで、子どもの学習成果を発表する機会を設けるとともに、佐渡博物館で信仰や芸能に関する展示を充実させ、新たな佐渡の魅力を楽しく学ぶことができる取組を進める。</p>

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	世界遺産推進課			
事務事業名	埋蔵文化財調査保存事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	埋蔵文化財である遺跡・出土遺物等を適切に調査・保存・管理することに併せ、その活用を図る。					
対象	各種遺跡					
意図（目標）	遺跡・出土遺物等の適切な調査・保存・管理及び活用を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
埋蔵文化財出前授業の件数		件	11	11	18	18
算式	実施件数		【A】	【A】		

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	小・中学校への出前授業実施事業			11	11	18	18
指標	実施件数	件					
2	新穂銀山跡国史跡追加指定事業			-	-	-	-
指標	国指定への追加指定にかかる同意数	件					

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価						
枝番	細事業名	成果及び課題と対策					
1	小・中学校への出前授業実施事業 【A】	<p>【成果】 目標件数を達成することができ、なおかつ小学生が出前授業の内容に興味を示し、意欲的に参加してくれた。</p> <p>【課題と対策】 新型コロナウイルス対策が第5類に移行したため、学校へさらなる啓発を図る方策を考え、かつ指導者の育成及び確保を図ることが課題としてあげられる。</p>					

Action	今後の事務事業の改善案					
<p>遺跡の適切な調査と出土遺物の保存・管理を図ると共に、出土遺物の展示や関連する講演会と小・中学校への出前授業や体験学習などの活用事業を通し、市民の文化財保護意識の醸成に向けた取組を進める。</p> <p>なお、新穂銀山跡国史跡追加指定事業については、令和4年11月10日に国史跡「佐渡金銀山遺跡」に追加指定されたことをもって事業は完了済である。</p>						

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	世界遺産推進課		
事務事業名	有形文化財保存活用事業				
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進				
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】				
事業概要	市内指定文化財のうち、有形文化財の適切な保護・保存及び活用を図るため、所有者等が行う修理及び活用に係る経費を支援する。				
対象	有形の指定文化財				
意図（目標）	有形の指定文化財を保護し、後世に残すとともに、その貴重な文化財の活用を促進する。				
事務事業の目標（成果）指標					
算式	指標の算式	単位	4年度 実績値	5年度(評価年度) 目標値	6年度 目標値
国県市指定の有形文化財所有者等へ適切な保存管理について周知し必要に応じて支援する。		%	100 【A】	100	80 【B】
算式	支援要望に対する支援対応割合				

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度(評価年度)		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	指定文化財助成事業			9	5	4	6
	指標	助成件数	件				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	指定文化財助成事業 【B】	<p>【成果】 緊急性の高いものから順次継続して修理費用を助成することにより、経年劣化した指定文化財を修復することができた。</p> <p>【課題と対策】 社会環境の変化により、所有者と行政の力だけでは指定文化財を保存し、継承することが困難になっている。</p>				

Action	今後の事務事業の改善案				
指定文化財等の保存状態等を把握するため、全所有者への支援制度の紹介に併せて、所有者等による適切保存管理が必要であることを改めて周知するとともに、必要に応じて活動を支援するため助成事業を継続する。					

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	芸術事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 16 文化・芸術の振興】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のさらなる創作意欲の喚起を図り、芸術、文化の振興に寄与するため、市展を開催する。</li> <li>・人間市写真連盟との交流により写真作品の相互展示を行った。</li> <li>・佐渡の伝統ある版画を全国に普及するため、全国の高校生が集う「はんが甲子園大会」の支援を行う。</li> </ul>					
対象	市民、高校生等					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが芸術、文化に親しみ、文化活動に参加し担い手となるよう、さまざまな文化事業等を充実させる。</li> <li>・個人や団体が、連携、交流、協力できるよう、活動の場や機会の拡充に努める。</li> </ul>					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度	5年度（評価年度）		6年度
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値	
市展出品点数		点	1,047	1,350	1,247	1,350
算式	出品点数		【C】			

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度	5年度（評価年度）		6年度
	指標	目標（成果）指標	単位		実績値	目標値	
1	市展運営事業			2,834	3,500	3,225	3,500
	指標	入場者数（会期入場者数）	人				
2	市展出品数増加（一般の部）			123	300	108	300
	指標	一般の部出品数	品				
3	市展出品数増加（ジュニアの部）			862	1,050	1,047	1,050
	指標	ジュニアの部出品数	品				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	市展運営事業 【B】	<p>【成果】 令和5年度に初めて佐渡市総合体育館（ヒルトップアリーナ佐渡）を会場に開催したことにより、入場者数が大幅に増え、目標値をほぼ達成することができた。</p> <p>【課題と対策】 昨年度以上に入場者数が増えるよう一般の部、ジュニアの部の出品数を増やすとともに、特別展等において工夫を凝らすなど内容を充実させ、多くの人から来場していただけるよう努める。</p>

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	市展出品数増加 (一般の部) <b>【C】</b>	<p><b>【成果】</b> 出品者の固定化、創作意欲の低下等により、目標数には大きく届かなかった。</p> <p><b>【課題と対策】</b> 新規の出品者開拓に向け、地区公民館講座参加者、地区文化祭出品者にも出品を促していく。又、出品履歴があり近年出品していない方等にも、出品依頼をし、作品数の増加を目指す。</p>
3	市展出品数増加 (ジュニアの部) <b>【B】</b>	<p><b>【成果】</b> 各小中学校からの出品点数の上限規定を見直したことにより、目標値をほぼ達成することができた。</p> <p><b>【課題と対策】</b> 市展ジュニアの部は市内小中学校に出品を依頼し、協力いただける学校に出品をいただく方法をとっており、学校行事との兼ね合いや美術・図工の進捗状況によって出品できない学校があるが、より多くの学校に出品いただけるよう、周知や案内を行っていく。</p>

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>減少傾向にある市展の出品点数を維持するため、これまで出品していただいていた方々の創作意欲の維持・向上や新たに出品していただける方の開拓などに力を入れるなど、出品しやすい仕組みづくりについて実行委員会で検討する。</p> <p>特にジュニアの部は年々出品点数が減少しており、小中学校や幼稚園・保育園から出品いただけるよう、出品規程や学校への案内方法を工夫する。</p>

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	佐渡学推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策16 文化・芸術の振興】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能を中心とした無形文化財の保存及び担い手育成を進め、市民や文化団体等の活動の活性化を図る。</li> <li>・市の実情に即した計画的な文化振興を図れるよう、「佐渡市文化振興ビジョン」を策定する。</li> </ul>					
対象	市民、文化団体等					
意図（目標）	・市のアイデンティティである貴重な文化を保存継承するため、担い手となる人材を育成する。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度	5年度（評価年度）		6年度
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値	
佐渡民謡団体の活性化		人	453	500	407	500
算式	佐渡民謡団体の団員数		【B】			

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度	5年度（評価年度）		6年度
	指標	目標（成果）指標	単位		実績値	目標値	
1	無形文化担い手育成事業（佐渡文化財団）			31	40	43	44
	指標	学校等への講師派遣・楽器貸出件数	件				
2	文化発信イベントの開催（民謡祝祭・鈍翁茶会）			790	800	650	800
	指標	民謡の祝祭イベントの来客数	人				
3	伝統芸能継承者育成活動の推進			0	2	0	2
	指標	伝統芸能継承事業補助金を活用した取組数	件				
4	地域クラブ活動実施事業			/	/	62	130
	指標	参加者数（開催数） 参加者はスキップ型参加生徒数及びエンジョイ型の参加型延べ人数の合計	人（回）				

C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	無形文化担い手育成事業(佐渡文化財団) 【A】	<p>【成果】</p> <p>無形文化の担い手育成に繋がる取組を行う(一財)佐渡文化財団に対し運営費の一部を補助することにより、文化財団では以下の事業を実施することができた。</p> <p>(1) 伝統芸能の継承者育成及びPR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡人形芝居保存会定期公演の開催支援(70名)</li> <li>・島外イベントへの芸能派遣(新潟市、豊島区、石川県)</li> </ul> <p>(2) キャリア教育支援及び文化活動担い手育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡市地域クラブ活動の種目設定への関与(4種目)</li> <li>・学校等への講師派遣 28件、和楽器貸出8件(延べ100台)</li> <li>・茅刈り、わら細工ワークショップ 計9回(延べ参加者115名)</li> </ul> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「賛助会員制」の充実による支援や寄付金収入の確保(延べ入会件数31件、46口) R5年度収入額 131千円</li> </ul> <p>【課題と対策】</p> <p>令和2年度に「文化財団のあり方に関する検討結果」、令和3年9月議会では「所管事務調査報告書」として、文化財団に関する意見が出されている。これらに基づき、文化財団では無形文化の担い手育成を柱とした事業に、役員が職員と一体となって取り組んできたところであり、事業実施に関して一定の成果を上げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織体制の強化 常勤役員の選任に至らなかったことから、組織体制の強化のため、機会をとらえて候補者と交渉を続けている。</li> <li>・収入に占める市補助金割合の低減 従来からの物販に加え賛助会員制度の導入や、イベント等への芸能披露依頼に関するコーディネート料を得ることで自主財源を確保し、安定的に活動できるように努めるよう指導していく。</li> </ul>
2	文化発信イベントの開催(民謡の祝祭・鈍翁茶会) 【B】	<p>【成果】</p> <p>文化発信イベントとして下記の事業を開催した。</p> <p>佐渡鈍翁茶会(益田孝翁顕彰事業実行委員会負担金) 開催日 令和5年9月30日~10月1日(来場者245名) 会 場 史跡佐渡奉行所跡</p> <p>佐渡民謡の祝祭(佐渡民謡活性化実行委員会負担金) 開催日 令和5年8月20日(来場者650名) 会 場 アミューズメント佐渡</p> <p>【課題と対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる来場者を呼べる仕組み作り 事業効果を高めるため、他の部署や民間事業者等と連携し来場者の増加を目指す。</li> </ul>
3	伝統芸能継承者育成活動の推進 【C】	<p>【成果】</p> <p>伝統芸能の継承者を育成する活動を推進するため、芸能保存団体等における一定の要件に該当する活動費の一部を補助する「佐渡市伝統芸能継承事業補助金」について、令和5年度における交付申請及び交付実績はなかった。</p> <p>【課題と対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能の保存継承 将来にわたって伝統芸能を保存継承していくためには、後継者育成の取組に加えて、道具類の修繕費用など負担面を軽減する取組も必要である。</li> </ul>

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
4	地域クラブ活動実施事業 【 - 】	<p><b>【成果】</b>            休日の中学校部活動の地域移行を目的に、月1回の週末に技術力向上を目指す「スキップ型」、複数の競技種目や文化活動から生徒が自由に選択して参加できる「エンジョイ型」の2タイプの活動を展開した。エンジョイ型では、既存の部活動にはない種目や佐渡の特色を活かした種目を用意し、これまで文化活動をしてこなかった生徒が文化に親しむきっかけづくりにもなった。</p> <p><b>【課題と対策】</b>            活動初年度であり、周知が不十分だったことから、地域クラブ活動を把握できない方が結構いた。より広く情報発信することで多くの方から参加していただけるよう取り組んでいく。</p>

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>伝統芸能の担い手育成は、文化の保存継承において喫緊の課題である。一方で、伝承者や担い手、それを支援する者など各主体が役割を認識した中での計画的で長期的な取組が必要なものである。令和4年度に文化振興ビジョン アクションプランを策定し、今後はその進捗を確認していくなかで問題点を探っていくことが重要である。</p>

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	青少年育成活動事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策17 家庭や地域の教育力向上のための取組】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代を担う青少年が夢と希望をもって自立と自己実現を図れるよう、市民と行政機関が協働して育成していく環境づくりを進める。</li> <li>市内13地区の青少年健全育成協議会の活動及び地域子ども会連絡協議会の活動を支援し、青少年の健全育成を図る。</li> </ul>					
対象	青少年					
意図（目標）	青少年の健全な育成を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
青少年健全育成事業参加者数		件	7,510 【C】	11,500	6,688 【C】	8,000
算式	青少年健全育成事業参加者数					

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	青少年健全育成組織支援事業			2,628	4,500	2,514	3,000
	指標	青少年健全育成協議会活動参加人数	人				
2	地域子ども会連絡協議会活動事業			4,882	7,000	4,226	5,000
	指標	地域子ども会連絡協議会活動参加人数	人				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	青少年健全育成組織支援事業 【C】	<p>【成果】 目標値は下回ったが、各地区で海岸清掃や料理作り等の体験・交流イベントを行い、青少年の健全育成に努めた。</p> <p>【課題と対策】 各協議会で、活動内容や地域団体や学校との連携体制に差がある。今後は、各協議会でそれぞれの課題を見出し、関係機関と情報を共有し、課題解決に向けた活動を実施する。また、市民会議等で意見交換をしながら各地区とも連携を図り、活動をより活発にし、青少年の健全育成のため事業を行う。</p>				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	地域子ども会連絡協議会活動事業 <b>【C】</b>	<b>【成果】</b> 子どもの減少による地域子ども会の加入数の減少に伴い、参加人数は目標値を下回った。しかし、限られた活動の中で、異学年との交流、地域住民とふれあうことにより、地域を知る機会となった。 <b>【課題と対策】</b> 地域子ども会ごとに活動状況や回数に差がある。また、他地域との交流が少ないため、佐渡市子ども会連絡協議会で、地域子ども会の全体に向けた活動を実施する。多くの子ども会から参加いただけるよう、地域子ども会の保護者も巻き込み、企画・運営を行う。 また、地域で実施される事業の継続、子どもたちが参加しやすい事業が実施できるよう支援する。

Action	今後の事務事業の改善案
	インターネットの普及により、子どもたちを取り巻く環境は複雑となっており、生活習慣の乱れやコミュニケーション能力の不足、体力の低下等、様々な課題がみられる。子どもたちが地域や様々な人と関わり合いながら、自ら考え、行動し、他者と共に協調する人間性を養うことが重要である。そのために地域と関係団体等が連携しながら積極的に事業を進めていく。 なお、各組織の在り方や推進体制を改めて検証し、より良い組織の運営方法を検討していく。

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課・社会教育課			
事務事業名	学校教育振興事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策17 家庭や地域の教育力向上のための取組】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育の啓発活動を推進する。</li> <li>・コミュニティ・スクール設置に向けて準備を進める。</li> </ul>					
対象	教職員、児童、生徒、保護者					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の健全育成と学習習慣の確立を目指し、PTAや公民館等において家庭教育の啓発活動を推進する。</li> <li>・「地域学校協働活動」や「放課後子ども教室」事業を拡充させるとともに「コミュニティ・スクール」の設置を目指す。</li> </ul>					
事務事業の目標（成果）指標						
算式	指標の算式	単位	4年度 実績値	5年度（評価年度） 目標値 実績値		6年度 目標値
	PTA等で家庭教育啓発活動を実施している割合（小・中）	%	80 【B】	100	100 【A】	100
算式	実施校数 / 市内小中学校数					
	コミュニティ・スクールの設置数（小・中）	校	35 【A】	35	35 【A】	35
算式	設置数					

Do		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度（評価年度） 目標値 実績値		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位				
1	協議会の運営等支援			30	35	35	35
	指標	PTA指導者研修会の参加校	校				
2	コミュニティ・スクール周知に向けての研修会			2	2	2	2
	指標	研修会数	回				

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	協議会の運営等支援 【A】	<b>【成果】</b> 心身ともに健全な児童・生徒を育成するPTA活動の活性化を図るため、PTA活動に関する研修を実施し、35校、35名の参加者を得た。 <b>【課題と対策】</b> PTA活動の活性化を図るため、来年度もPTA指導者研修会を開催する。				
2	コミュニティ・スクール周知に向けての研修会 【A】	<b>【成果】</b> 研修会の実施によりコミュニティ・スクールへの理解を進めることができた。 <b>【課題と対策】</b> 学校運営協議会と地域学校連携事業が一体的に取り組みめるように、リーダーとなるCSディレクターや地域コーディネーター向けの研修会を実施していく。				

A c t i o n	今後の事務事業の改善案
各校へPTA指導者研修会の参加を促し、引き続き全35校の参加を目標値とする。 全小中学校がコミュニティ・スクールとして充実した活動に取り組めるように研修会を実施する。また、順次CSポートフォリオの実施や協議会への支援を行う。	

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	学校・家庭・地域の連携促進事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策17 家庭や地域の教育力向上のための取組】					
事業概要	各小中学校に配置された地域コーディネーターを中心に、地域の人材を活用して子どもたちの学習を支援するなど、地域と学校の連携・協働を推進する。また、地域人材で構成される家庭教育支援チームと連携し、家庭教育に関する相談対応や親子体験活動を実施し、すべての保護者が安心して家庭教育を行える環境を整える。さらに、中学生の基礎学力向上を目指して中学生対象の事業を起し充実を図る。					
対象	児童、生徒、学校、地域、保護者					
意図（目標）	「地域学校協働活動」や「放課後子ども教室」、「土曜学習」、「地域未来塾」事業を拡充させる。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
地域コーディネーターを活用し、地域との連携・協働を図っている学校（小・中）		% (校)	100 (35) 【A】	100 (35)	100 (35) 【A】	100 (35)
算式	実施校数 / 市内小中学校数					
学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施している学校（小・中）		% (校)	100 (35) 【A】	100 (35)	100 (35) 【A】	100 (35)
算式	実施校数 / 市内小中学校数					
放課後子ども教室を実施している学校（小）		% (校)	45 (10) 【B】	50 (11)	50 (11) 【A】	59 (13)
算式	実施校数 / 市内小学校数					
土曜学習・地域未来塾を実施している学校（中）		% (校)	/	/	23 (3) 【-】	100 (13)
算式	実施校数 / 市内中学校数					

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名		4年度 実績値	5年度（評価年度）		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標		単位	目標値	
1	放課後子ども教室参加事業（子ども）		6,925	7,500	6,115	7,500
	指標	参加した子どもの人数				
2	放課後子ども教室参画事業（地域住民）		1,271	1,300	536	1,000
	指標	参画した地域住民の人数				
3	土曜学習・地域未来塾事業（中学生）		/	/	64	150
	指標	参加した生徒の人数				

C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	放課後子ども教室参加事業（子ども） 【 B 】	【成果】 昨年度より放課後子ども教室数が1教室増えたが、開催数の減などがあり、目標値には達しなかった。 【課題と対策】 子どもたちにより多くの体験や学びを得てもらうため、活動環境や活動内容を変えながら取り組む。また、アンケート結果から子どもたちや保護者が希望する活動を組み込み、充実した活動となるよう実施する。又、教室数が増えるよう、未設置の学校に協力依頼をして行く必要がある。
2	放課後子ども教室参画事業（地域住民） 【 C 】	【成果】 目標値には達しなかったが、全ての教室に地域コーディネーターを配置するとともに、各教室での運営委員会において事業の改善等をするなど、子どもたちが充実した活動を行えるような環境を整備した。 【課題と対策】 参画する地域住民が固定化されており、より幅広い地域住民の参画を得るため、今後も各教室での活動内容や事業内容を広く周知し、理解を図るとともに、学校や地域とも連携しながら、活動を行う。
3	土曜学習・地域未来塾事業（中学生） 【 - 】	【成果】 ICTを活用することで初めて大学生の支援を得ることができた。大学生を活用することで慢性的な講師不足を解消することが見込まれる。 【課題と対策】 講師不足から対象とする中学校を増やすことができなかったが、今後は市内全中学校を対象に参加者の募集を始めたい。また、各家庭に居ながら学習支援が得られるような初めての取組も取り入れる。

A c t i o n	今後の事務事業の改善案
	<p>地域学校協働活動では、地域コーディネーターが様々な地域人材を活用し、学校行事や授業補助等の学校を支援する活動が主である。今後は、学校運営協議会と地域学校協働本部が連携・協働し、地域課題や学校課題の解決に向けた活動、目指す子ども像に向けた活動を実施するなど、地域全体で子どもたちの成長を支える活動を推進する。それに伴い、地域の教育力の向上を図り、子ども達の社会性の向上や社会を生き抜く力を育む。</p> <p>家庭教育支援については、親子でふれあい、楽しみながらできる活動を実施するとともに、家庭教育や性教育に関する学習機会の提供を行う。また、子ども若者相談センター等、関係機関と連携を図り、充実した事業に繋げる。</p> <p>土曜学習・地域未来塾については、令和5年度の実績によりICTを活用することで大学生の支援を得ることが可能となった。令和6年度には家庭でも学習支援が得られることができるようにし、市内の全中学校を対象にして学習者の増加を見込んでいく。</p> <p>行政として、地域学校協働本部や各役職の役割を明確にし、学校・家庭・地域の理解を得て、協力要請を行う。また、学校教育課と密に連絡をとり、学校運営協議会と地域学校協働本部が一体的に推進できるよう、体制を整える。また、学校の地域連携担当教員や地域コーディネーターを対象とした研修会を実施し、それぞれの役割、先進地域の事例等を説明し、一人一人が当事者意識を持ち、活動に取り組めるよう支援する。</p>

令和6年度（令和5年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	教育総務課			
事務事業名	児童援助事業・生徒援助事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策 18 虐待や貧困から子どもを守るための関係機関との連携強化】					
事業概要	経済的に困窮している児童生徒の保護者に学用品費や学校給食費、修学旅行費等の援助を行う。					
対象	児童、生徒の保護者					
意図（目標）	就学援助が必要とされる家庭すべてに行き届くよう努める。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	4年度 実績値	5年度(評価年度)		6年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
幼児児童生徒の現状把握のため、関係機関と連携している割合（幼保・小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	関係機関と連携している割合					

Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			4年度 実績値	5年度(評価年度)		6年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	要保護・準要保護児童生徒援助事業			89	95	95.3	95
	指標	申請書の回収率	%				
	指標						

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	要保護・準要保護児童生徒援助事業 【A】	<p>【成果】 児童・生徒が家庭の経済事情に関係なく、通常の学校生活を送ることができ、義務教育段階での教育機会の平等化につながった。 未提出者のうち前年度認定者へ申請の意思確認を行なうなど、援助が必要な家庭への制度周知に努めたことで、回収率が上昇し、目標に達することができた。</p> <p>【課題と対策】 提出先を学校とし、学校で取りまとめを行っていることから高い回収率となっているが、明らかに対象とならない児童生徒にも提出を求めており、保護者や教職員の負担となっている。</p>				

Action	今後の事務事業の改善案					
<p>保護者の負担軽減、教職員の事務効率化の観点から電子申請を検討しているため、回収率の低下が懸念される。電子申請開始後も、当面の間は電子・紙の両方の申請を可能とし、必要な家庭に援助が行き届くよう制度周知を徹底したい。</p> <p>平成17年から就学援助制度の認定基準や給付内容は、国レベルでの一律の基準は設けられておらず、就学援助制度の運用は自治体の裁量に委ねられている。国や他の自治体の動向を常に注視し、国の方針や近隣市町村の事例を参考にしながら運用していく。</p>						

評価

施策実施上注目すべき数値の一覧

基本目標	施策	指標	R4 数値	R5 目標値	R5 数値	R6 目標値	
1	1	全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との差(小・中) [%]	小国-0.6 小算-2.2 【C】 中国-1.0 中数-4.4 【C】	小全国 平均以上 中全国 平均以上	小国+1.8 小算-2.5 【B】 中国-3.8 中数-10.0 【C】	小全国 平均以上 中全国 平均以上	
		標準学力検査NRTで偏差値50以上の教科の割合(小・中) [%]	小70.5 【C】 中40 【C】	小80 中50	小59.0 【C】 中33.8 【C】	小80 中50	
	2	すべての学級で道徳の授業を公開している割合(小・中) [%]	94 【B】	100	100 【A】	100	
		人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合(小・中) [%]	100 【A】	100	100 【A】	100	
	3	学校給食における地産地消の献立の実施状況(小・中) [%]	21 【A】	23	22.8 【B】	23	
	4	基準に基づく介助員の配置割合(小・中) [%]	100 【A】	100	100 【A】	100	
		「個別の教育支援計画」を作成・活用している割合(小・中) [%]	100 【A】	100	100 【A】	100	
	5	保育園・幼稚園との教育活動の交流を行っている割合(保幼・小) [%]	86 【B】	100	95 【B】	100	
	2	6	課題解決学習を取り入れた職場体験活動を実施している割合(中) [%]	100 【A】	100	100 【A】	100
			「みらい'sノート」を活用したキャリア教育を実施している割合(小) [%]	100 【A】	100	100 【A】	100
7		小・中の英語教育の円滑な接続のための研修や交流を実施している割合(小・中) [%]	60 【C】	80	54 【C】	80	
		ICTの効果的な活用に関する授業研修を行っている割合(小・中) [%]	100 【A】	100	100 【A】	100	
3	8	通学路点検の実施割合(小・中) [%]	100 【A】	100	100 【A】	100	
		防災教育の実施割合(小・中) [%]	100 【A】	100	100 【A】	100	
	9	いじめの解消率(小・中) [%]	88 【B】 R5.7月末時点	100	86.3 【B】 R6.7月末時点	100	
		不登校児童生徒の割合(小・中) [%]	小1.44 【C】 中4.87 【C】	小1.3 中5.0	小1.42 【B】 中6.14 【C】	小1.3 中5.0	

基本 目標	施策	指標	R4 数値	R5 目標値	R5 数値	R6 目標値	
4	10	大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合(小・中)【%】	83 【B】	90	82.9 【B】	90	
	11	大学・大学生等との交流を行った割合(小・中)【%】	46 【A】	50	37.1 【C】	50	
5	12	公民館利用者数【万人】	14.1 【C】	18.0	15.3 【B】	18.0	
	13	体育施設利用者数【万人】	39.4 【C】	51.1	40.5 【C】	51.1	
	14	図書館・図書室の来館者数【万人】	12.7 【B】	15.0	13.6 【B】	15.0	
	15		博物館・資料館及び類似する文化施設に入館した人数【人】	41,927 【C】	61,900	44,464 【C】	51,850
			佐渡金銀山ガイド施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業への参加者数【人】	331 【A】	320	640 【A】	400
			世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等の件数【件】	53 【A】	45	54 【A】	45
			ジオパーク推進事業に携わった人数【人】	6,121 【A】	5,000	6,197 【A】	6,000
		埋蔵文化財出前授業の件数【件】	11 【A】	11	18 【A】	18	
16	市展出品点数【点】	1,047 【C】	1,350	1,247 【B】	1,350		
6	17	P T A 等で家庭教育啓発活動を実施している割合(小・中)【%】	80 【B】	100	100 【A】	100	
		地域コーディネーターを活用し、地域との連携・協働を図っている学校(小・中)【%(校)】	100 (35) 【A】	100 (35)	100 (35) 【A】	100 (35)	
		学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施している学校(小・中)【%(校)】	100 (35) 【A】	100 (35)	100 (35) 【A】	100 (35)	
	18	幼児児童生徒の現状把握のため、関係機関と連携している割合(幼保・小・中)【%】	100 【A】	100	100 【A】	100	

### 3 総評

令和5年度に執行された佐渡市教育委員会の所管事業の事業内容及び内部評価について、事務点検評価者として次のとおり総評する。

- (1) 本年7月、「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録されたことは、何よりも喜ばしいことであった。登録実現は、行政・市民・企業等が連携協力して成し得た成果であり、今後も様々な課題に対しても多方面から連携しながら根気強く取組を進めていただきたい。
- (2) 学校教育に関する施策に対する評価は概ね目標を達成しており、担当課職員が真摯に継続して取り組んだ成果である。一方で学力向上の部分で十分な成果が得られていないことは残念であるが、今年度から指導主事が2人体制になったことから、学校や教員との連携や指導の充実を期待する。
- (3) 利用者数、出品点数を指標としている施策については、目標値に達しなかったものが多くなっている。人口減少・少子高齢化の中でも前年比で、博物館等の入館者の増員、市展の作品数の増加及び来場者増員のための会場変更の試み等、前向きな取組がみられる。難しい課題ではあるが、一層の取組を進めていただきたい。
- (4) 多様性の大切さを認識し、個を尊重して生活する態度を家庭・学校・地域を挙げて身に付けることが重要である。いじめの解消、明るい家庭、住みよい地域づくりの核として、学校教育・社会教育が中心となって計画的に進めていただきたい。

新たに事業を起こすだけではなく、既存の様々な活動の場面で身に付けていくようにしてもらいたい。

#### 【項目別の主な評価、意見】

##### (1) 総合教育センター事業

学力向上に関しては、学校教育においては最重要課題であるが、様々な取組に対しても十分な成果が得られていない。これまで通り学校支援訪問指導・校長会と連携した取組・教員研修の実施等を推進すると共に、授業支援ソフトやA Iド

リルの有効な活用方法等の新たな取組を市として進めることも重要だと考える。

道徳教育に関しては、着実な実践がみられるが、豊かな心・倫理観、規範意識が育まれているかをいかにして見取っていくかは今後の検討課題だと考える。

## ( 2 ) 総合学習支援事業

課題解決型職場体験、みらい's ノート等を活用して市全体でキャリア教育に取り組んでいる点は評価する。その結果、「佐渡を知り、愛し、誇りを持つ」児童生徒が育成されているかをいかにして見取るかの指標の設定も必要である。

## ( 3 ) 地域ぐるみの学校安全体制整備促進事業

スクールガードリーダーの確保が困難な理由を地域性の面からよく分析し、その地域・地区の実情に合わせた体制も考慮して、安全体制を整備することも検討されたい。

## ( 4 ) 心の教育支援事業

教育相談事業、不登校への訪問指導、心の健康チェック等、全ての項目でAないしはBの高評価であり、小学校の「不登校児童生徒の割合」も徐々に効果が見られている。中学生の不登校割合の増加が大きな課題であり、改善に向けてどのような取組が効果的か、十分検討する必要がある。

## ( 5 ) スポーツ推進事業

佐渡市の人口減少、少子高齢化の現状でスポーツに親しむ市民を増やし、体育施設等の利用者を増加させていくことは、非常に難しい課題である。その中で、地域クラブ活動(中学生対象)は、スポーツに親しむ市民の裾野を広げる意味でも大変期待している。

## ( 6 ) 有形文化財保存活用事業

災害事故等もあり、佐渡の宝である有形文化財を失うといった事例がある。所有者との意見交換等を十分に行い、理解と協力を得て、良好な状況で長く保存されたい。

#### (7) 芸術事業

市民の文化芸術の創作活動に公民館講座や公民館自主講座の役割は、大きなものを占めているが、人口減少・少子高齢化の中、講師の高齢化や受講生の減少で講座が先細りになっているものもみられ、市展への出品数を増やすことや入場者を増やすことは、大変難しい現状である。しかし、担当課の努力により、ジュニアの部では、200点弱出品数が増え、入場者も増加していることは評価する。

また、島内に限らず新たな指導者を招聘するなど、受講生や仲間の育成も検討されたい。

#### (8) 学校・家庭・地域の連携促進事業

学校、家庭、地域の連携は以前より重要な課題となっている。その中で放課後子ども教室(小学校)、土曜学習塾・未来塾(中学校)は大変有効な取組であり、実施方法を工夫すると共に実施率が上がるよう努力されたい。中学生の学力向上の一助になることを期待する。